



# 自宅学習でも取り組める【英語学習法】

4月13日(月)

新型コロナウイルス感染症の影響で自宅学習をしている生徒諸君だけでなく、すべての英語学習者に役立つと思いますので、是非試してください。

今回紹介するものは「同時通訳の神様」と言われた國広正雄氏の著書「英語の話しかた」からその内容を紹介しますが、シンプルでありながら効果は絶大であることは、多くの英語学習者が証明済みです。

その方法とは、一言でいえば「只管朗読(しかんろうどく)」「只管書写」です。わかりやすく言えば、意味・内容の分かっている英文を、声に出して英文を暗記するくらい繰り返して読むこと、書くことです。英語を読んでその意味が分かれば、それを英語で聞いても意味が分かるはず。またその内容(日本語)英語にして話したり書いたりすることもできるようになります。現在言われている英語4技能の要素がすべて含まれた学習方法です。

ただそれだけかと思う人がいるかもしれませんが、この方法には、英語学習に求められる重要な要素が含まれています。ネイティブのモデルリーディングがあれば完璧ですが、今ならインターネットで簡単に手に入るのではないのでしょうか。

教材は、高校一年生は、中学校3年分の教科書で十分です。高校2・3年生は、それに加えて高校に入学してから使った教科書または課外などのテキストです。

人前で音読することをためらう人もいますが、自宅学習中の皆さんならすぐに取り組めると思います。英語に自信がない人は、高校生であっても中学1年の教科書から始めることを勧めます。まずは1レッスン5回読んでみてください。できれば10回。読んだり、聞いたりした英語を同じように話したり書いたりできれば次に進んでみましょう。まずは読むことだけに集中してもよいと思います。



英文を全部暗記するほど読んでいけば、少なくとも定期テストで好成績を取ることは難しくありません。このような状況だからこそ試してほしい勉強法です。